

令和2年度第1回横須賀市精神保健福祉連絡協議会会議録

- ・ 日 時： 令和3年1月21日（木）書面会議

- ・ 出席者 柏美樹、柏木孝子、加藤幸次、木村充、後藤健一、小林正稔、佐藤洋志、志戸ゆかり、下江秀雄、重城眞知子、鈴木香織、高屋淳彦、田中知己、田村千秋、中野浩志、橋本健司、藤崎啓造、宮崎大輔、脇範泰
（敬称略、五十音順）

- ・ 事務局： 小菅俊彦 ：健康づくり課長補佐
 増田浩子 ：健康づくり課主査
 菅祐太郎 ：健康づくり課

1 議事

（1） 座長の選出

- ・ 本来は構成員の互選により選出するものであるが、今回は書面会議としたため、協議会設立当初から昨年度まで座長を務められた、神奈川県立保健福祉大学の小林正稔教授に今期も引き続き座長をお願いすることについて構成員に意見を求めた。結果、構成員の全員の承認が得られたため、小林構成員が座長に選出された。
- ・ 意見等は別添回答一覧（議事1）のとおり。

（2） 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの取組み状況

- ・ 「資料1-1 横須賀市の精神保健福祉の状況」、「資料1-2 これまでの地域移行・退院促進の取組みの経過」、「資料1-3 令和2年度横須賀市精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業実績報告」を配付し、意見及び質問を求めた。
- ・ 意見等は別添回答一覧（議事2）のとおり。

（3） 横須賀市内・近隣の精神科等の医療機関 MAP の活用について

- ・ 「資料2 横須賀市内・近隣の精神科等の医療機関 MAP（案）」を配付し、意見及び質問を求めた。
- ・ 実施状況等は別添回答一覧（議題3）のとおり。

（4） 次年度以降の取組みについて

- ・ 「資料3 構成要素ごとの現状確認シート（事務局作成）」を配付し、次年度以降に当協議会で行う必要があると思われる取組みについて意見等を求めた。
- ・ 実施状況等は別添回答一覧（議題4）のとおり。
また、田村構成員より資料を恵与いただいた。

(5) その他

- ・書面会議についての意見・感想、次回以降に取り上げたい議題について意見を求めた。
- ・意見等は別添回答一覧（その他）のとおり。また、下江構成員より資料を恵与いただいた。

2 事務局より連絡事項

- ・「資料 1-1 横須賀市の精神保健福祉の状況」について資料の訂正があります。
資料 1-1 P6の「4 横須賀市内の福祉施設の事業所数の推移」の表について、R2.4の作業所、地域活動支援センターの事業所数が「8」となっておりましたが、正しくは「7」です。
また、同表の就労定着支援の備考を「主に精神障害対象」としておりましたが、正しくは「精神障害の対応可能」です。

<訂正前> 該当箇所抜粋 資料 1-1 P4 横須賀市内の福祉施設の事業所数の推移

	H30.4	H31.4	R2.4	R2.12	備考
就労定着支援		3	4	4	主に精神障害対象
作業所 地域活動支援センター	8	8	8	7	

<訂正後> 該当箇所抜粋

	H30.4	H31.4	R2.4	R2.12	備考
就労定着支援		3	4	4	精神障害の対応可能
作業所 地域活動支援センター	8	8	7	7	主に精神障害対象

以上

令和2年度 第1回横須賀市精神保健福祉連絡協議会 回答一覧

議事1 座長の選出			
横須賀市地域福祉課	藤崎構成員		承認します
横須賀市障害福祉課	佐藤構成員		承認します
横須賀市健康長寿課	田中構成員		承認します
横須賀市医師会	後藤構成員		承認します
湘南病院	中野構成員		承認します
NPO法人横須賀つばさの会	下江構成員		承認します
神奈川県司法書士会横須賀支部	橋本構成員		承認します
衣病訪問看護ステーション長瀬	志戸構成員		承認します
一般社団法人神奈川県精神保健福祉協会	柏構成員		承認します
本庁第一地域包括支援センター	柏木構成員		承認します
久里浜医療センター	木村構成員		承認します
仕事探しクラブ	宮崎構成員		承認します
特定非営利活動法人えがお すまいるEnn	重城構成員		承認します
チームブルーよこすか	鈴木構成員		承認します
福井記念病院	高屋構成員		承認します
とらいむ	田村構成員		承認します
神奈川県立保健福祉大学	小林構成員		承認します
横須賀市生活福祉課	加藤構成員		承認します
横須賀市保健所健康づくり課	脇構成員		承認します

令和2年度 第1回横須賀市精神保健福祉連絡協議会 回答一覧

議事2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの取組み状況			
横須賀市医師会	後藤構成員	資料1-1	障害者の自立、社会参加を目指すサービス両面でGHや就労継続支援A型、就労定着支援が増加している傾向は好ましく、見守りたい。
NPO法人横須賀つばさの会	下江構成員	資料1-1	①市の人口減に対して、手帳の数は増えている。自立支援医療受給者証に対して、手帳を持っている人は60.48%で、手帳を持ちたくない人が4割近くいる。(自分を精神障害と認めたくないからか?) ②地域包括ケアシステムについて:相談サポートセンターを5ヶ所にし、4つ障害を対象にしているが、1ヶ所以外は精神保健福祉士がいないので、「たらいまわし」になっている。増強し精神の対応をさせる。
神奈川県司法書士会横須賀支部	橋本構成員	全般	当市においては、昨年度より、福祉の総合相談窓口「ほっとかん」が開設されました。ほっとかんに設置された「よこすか成年後見センター」では、高齢者だけではなく、障害者も含めて判断能力が十分でない方の相談を受け、必要に応じて成年後見制度の利用を支援します。認知症等の高齢者についての制度利用は増えていますが、精神・知的障害者の方に対する成年後見制度の利用については、まだまだ活用されていないと感じています。 ご本人はもちろん、ご家族等の理解も必要なため、制度利用につながりにくい事もありますが、本人や支援者の高齢化も進み、早めの対応が必要な場合もあります。 本協議会でも、障害者の方の成年後見制度の認知度や利用状況についての検証が必要ではないかと考えます。
衣病訪問看護ステーション長瀬	志戸構成員	資料1-2	長期入院患者の退院を促進させたいが、受け入れ側の家族の高齢化、また再入院者の長期化防止の取り組みについては、在宅現場で問題となっている。これらをどう取り組み対応していくことになるのか。横須賀市でのグループホームは需要に対して共有は足りているのか。
一般社団法人神奈川県精神保健福祉協会	柏構成員	資料1-1	市内の相談事業所における地域移行、地域定着支援の状況(数値)も知りたい。
本庁第一地域包括支援センター	柏木構成員	資料1-1	グループホームの施設が増えていますが、精神疾患の方で入所されている方は何人位いますか?又、入所期間はどのくらいですか
特定非営利活動法人えがお すまいるEnn	重城構成員	資料1-3	横須賀市の状況が確認でき、今後を考える為の参考になりました。 「精神障害者の住まいの確保支援にかかわる事業」が進むことを望みます 以下別添回答 (1)構成員に病院関係者が多い中、自分のようなものがこのようなことを記載するのは憚られるが、手帳はドクターの意見書で等級が決まってしまうため、等級が下がらないようお願いする人や、この病院、この先生は重く書いてくれる等の状況を聞くことがあります。生活しやすいように上の等級になるように考えて記載してくださっているお気持ちは有難いことですが、2級よりも症状が軽い人が1級ということもあり、事実を記載していただきたいと思うこともあります。 (2)国の方針もあり病院側も入院する時点で、入院は3か月まで、3か月で退院と考えていることもあり、3か月未満の割合が増えているように思います。 (3)横須賀市内のグループホーム事業者が入会しているグループホーム連絡会や神奈川県精神障害者地域生活支援団体連合会のグループホーム部会があります。グループホームの数が急速に増えているが、ここ数年、新規に立ち上げた事業者は加入していないため、噂ではいろいろな情報を聞くこともありますが、接することもなく、どのような事業所なのか分からない。市も今以上に、それぞれの特徴等を把握していただくと良いと思います。グループホームが増えることは、入居者さんがホームを選べること、入居しやすくなることはよいことだと思います。 (4)退院、病院からグループホームへ ・病院側は、まずグループホームに入居し、その後アパートという考え方が一般的ですが、最初からアパートではなくグループホームが安心という考えは理解できますが、グループホームが合わない方もおります。アパート住まいも選択肢に入れていただきたいと思います。 ・支援者、病院等が退院を考えるあまり、本人の状況がグループホーム側に伝わっていないことがあり、グループホーム入居後問題が出てきたこともあります。 ・退院したくても、行き場所がなく長期入院になっている方も多く、長期入院で特に年齢が上がると、ご本人の不安もあるが、受ける側も年齢が進んだ時の体調、持病等を考えると、簡単には受けられないということがあります。 ・現在グループホームに入居している方が、年齢が上がってもご本人が望むならば、グループホームに住み続けられるよう、今後どのようにしていくのがよいか考えていく問題と思っています。
チームブルーよこすか	鈴木構成員	全般	まだまだこれからの事業なんだなあという印象。1年で1つ何か成し遂げられる項目を決めて進めてはどうか。

令和2年度 第1回横須賀市精神保健福祉連絡協議会 回答一覧

福井記念病院	高屋構成員	全般	長期入院者が地域で生活できるよう、より細かな支援が必要であると思います
とらいむ	田村構成員	資料1-2	<p>これまでの地域移行・退院促進の取り組み 「お金がかかるとは思います、グループホームを増やしてはどうか、と思います。横浜にある、社会福祉法人うしおださんは独立型のグループホームを運営されています。このようなグループホームは横須賀にもあって、私が知らないだけかもしれませんが、このようなグループホームは精神障害当事者である私から見ますと素晴らしいので、ぜひ、横須賀にもたくさん作っていただきたいです。</p> <p>このグループホームは、見た目が普通のアパートと全く変わりません。利用者さん達全員が使える部屋が1部屋あり、そこが共有スペースと夕食を食べる所となっています。夕食だけは全員で食べます。トイレ、お風呂、キッチンが各部屋にありますので、利用者さん達は満足されているようです。部屋ごとにカギがかかり、インターフォンも備え付けられていますので、プライバシーも、セキュリティも、十分です。</p> <p>郵便物、光熱費等の請求書も、各自のポストに入れられるため、光熱費の払い方もグループホームにいながら、覚えることが出来ます。私の両親は、私(精神障害当事者)を信用してくれず、亡くなるまで家計を任せてくれなかったため、私は両親が亡くなって初めて光熱費を払うことになり、四苦八苦しましたので、この生活スキルを身につけることは、将来かなり役に立つことだと思います。</p> <p>ほとんどの利用者さん達はあとは服薬管理を覚えること、金銭管理ができるようになること、精神的に一人暮らしをする自信をつけること等、あと一歩で地域で一人暮らしができるレベルです。</p> <p>このグループホームの目的は、利用者さん達がホームに残らず、卒業して、地域で一人暮らしをされることです。回転率が、他のホームより高いのではないかと思います。ですので、多くの精神病院退院希望者さん達(社会的入院患者さん達)を救って下さるのではないかと思います。</p> <p>共有スペースは利用者さん達が自由に使え、夕食は全員で食べるので、「一人でのんびり寂しい」点に対応すると思います。</p> <p>利用者さん達はほとんど自立されているため、夜間にスタッフさん達はホームに泊りませんが、何かあったら施設長さん等に、夜、緊急連絡できるので、「夜間が不安」な点に対応していると思います。</p> <p>私が知らないだけで、横須賀にもすでにこのようなホームがあるのかもしれませんが、このようなホームが横須賀にも沢山あったらいいのに、と当事者として思います。</p> <p>横須賀では、中古の一軒家を買って、グループホームにすることが多いと聞きましたが、「他の人と一緒にトイレやお風呂は嫌」と言う、心の病の方達は多いです。お金の問題が大きいとは思いますが・・・。</p> <p>節約のため、お風呂のお湯は、利用者全員一緒というホームもあるようで、せめて一人入り終わったら、お湯を変えてくれる等してくれれば、利用者さん達も不快に思わずお風呂に入ることが出来、人気のあるホームとまではいなくても、納得のいくホームになってくれるのではないかと思います。</p>
とらいむ	田村構成員	資料1-2	<p>相談員の人材不足が課題 地域生活を既に安定して送っている、地域で活動しているピアサポーター(心の病のおおむね安定した人。心の病のまだ不安定な方達を対等な立場でサポートする人。)を研修などでトレーニングしていただき、障害者の方達に寄り添ってもらったらどうかと思います。</p> <p>ピアカウンセリングを学んだピアサポーターもいますので、相談員さんの補助役ぐらいならはできるのではないかと思います。</p> <p>相談の内容のあまり複雑でない方達はピアサポーターに任せ、相談の内容の複雑な方達は相談員さんに任せるというようにすればいいのではないかと思います。</p> <p>ただ、お金の話はあまりしたくありませんが、ピアサポーターにも生活があるため、ピア活動をするにあたって、交通費と時給をいただくと、多くのピアサポーターが長く活動できると思います。</p>
議事3 横須賀市内・近隣の精神科等の医療機関MAPの活用について			
横須賀市医師会	後藤構成員	資料2	MAPの大きさが実際のどのくらいなのか、割と大きく余裕があれば、医療機関側からの望むならば、福祉施設の場所もMAPに入れていただけるとありがたいです。
NPO法人横須賀つばさの会	下江構成員	資料2	わかりやすくて良い。病院以外に、地域包括支援センター、相談サポートセンター等を追加する。
衣病訪問看護ステーション長瀬	志戸構成員	資料2	利用した患者や家族はその精神科等、医療機関の特徴(相談員の有無、カウンセリングが受けられるか等、主治医の専門分野について)など、別表にあるとわかりやすいと思いました
一般社団法人神奈川県精神保健福祉協会	柏構成員	資料2	わかりやすいマップだと思います。クリニックによって思春期、アルコール依存症、うつ病など得意分野や専門医の有無などがあると、より分かりやすいように思います。

令和2年度 第1回横須賀市精神保健福祉連絡協議会 回答一覧

本庁第一地域包括支援センター	柏木構成員	資料2	精神科の受診について、人によってはなかなか受診を受け入れられない方もいると思います。内科や眼科、皮膚科等と同レベルになるのは難しいとは思いますが、人々の近く存在になるといいと思っています。マップは見やすいくていいと思います。「横須賀市内…MAP」のあたりに、例えば心が落ち着かないとき、夜眠れないとき等にちょっと受診してみませんか、心の専門家に相談してみませんかと言葉を入れてはどうでしょうか（マップのみの場合です）
久里浜医療センター	木村構成員	資料2	わかりやすく良いと思います。
特定非営利活動法人えがお すまいるEnn	重城構成員	資料2	地域の人には入院可能な病院の記載もあると選びやすいのではないのでしょうか。
チームブルーよこすか	鈴木構成員	資料2	こころの相談ガイドにもマップを載せてほしい。
福井記念病院	高屋構成員	資料2	様々な部署に設置して活用してください
議事4 次年度以降の取り組みについて			
横須賀市地域福祉課	藤崎構成員	保健・予防	本協議会で取り扱うことが適当かわかりませんが、就労や福祉施設などの通いの場につながらないものの社会との関わりを持ちたい方が緩やかにつながれる場が不足していると考えます。
横須賀市医師会	後藤構成員	医療	COVID-19時代において、ますます精神科の在宅医療への普及啓発の方向が望まれる。行政と医療機関の連携によるアウトリーチ支援が望まれる。
NPO法人横須賀つばさの会	下江構成員	障害福祉・ 介護 医療	(1)「令和3年度の福祉計画(精神障害)の説明」 横浜市では、精神障害に関する審議委員会があり、この協議会の委員の方がメンバーになっている。なお柏美樹氏が県の精神保健福祉士協会長時代に委員されていた。横浜市の精神関係の内容が充実している。市の福祉レベルを確認する。 (2)「アウトリーチ支援に係る事業」 医師の訪問は、福祉記念病院が実施しているだけだと思う。重度と高齢者には、必要で、アウトリーチ支援が進んでいない。 (3)「障害者自立生活アシスタント事業について」 障害者の生活力、社会適応力を高める支援で、訪問による支援、コミュニケーション支援、ひとりひとりに合わせた支援、他の機関等との連携をする。横浜市では、精神施設が17ヶ所、知的が20ヶ所、高次脳機能が14ヶ所、当事者が通う場の提供、生活サポート(入浴、ランドリー、食事等)もあり、地域で安心して暮らせるように生活を支援している。特に、退院者のサポートに良い。なお、横須賀市では相談支援で訪問まで出来ない。重度の場合は訪問が必要で、横浜市では悲惨な事故がない。
神奈川県司法書士会横須賀支部	橋本構成員	障害・介護	「議事2」で意見としても記載しましたが、障害者の方について、適切な成年後見制度の利用につなげるため、現状の検証と制度の周知が必要ではないでしょうか。 そこで、構成要素の「障害福祉・介護」において、「現状」として障害者の方の成年後見制度利用実績、「課題」として、制度利用につながりにくい理由の検証、「今後の取組」については、「ほっとかん」、「よこすか成年後見センター」の広報や、制度利用につながった取組の検討や実施、などについて、ご検討いただければいかがでしょうか。
衣病訪問看護ステーション長瀬	志戸構成員	地域の助け 合い・教育 (普及啓発)	ピアサポーターはいるが活動や人材育成ができていない問題について、現在コロナ禍で教育の場を持つことが厳しいと思う。しかし精神疾患の方が何か自分たちができることと考え、ピアサポーターを目標にされる方もいると思うので、人材育成の取り組みを具体的にやってほしい

令和2年度 第1回横須賀市精神保健福祉連絡協議会 回答一覧

一般社団法人神奈川県精神保健福祉協会	柏木構成員	医療 保健・予防	<p>長期入院者の退院阻害要因の調査(数年前と変化があるのか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域支援体制(受け入れ側)の課題と上記の要因に関係があるのか ・再入院の理由と地域支援についての関係はどうかなど ・現在見当たらない必要と思われる支援をどのように作るのか(地域自立支援協議会の可能性)など <p>Ex 夜間不安を訴える方への支援→24時間もしくは夜間電話相談 夜間利用できるヘルパーや傾聴ボランティア 医療機関は「不安」に対応するためにどの程度まで関わってもらえるのかなど</p>
本庁第一地域包括支援センター	柏木構成員	障害・介護	<ul style="list-style-type: none"> ・包括支援センターでは、高齢者の親(親自身も精神疾患や認知症などを持っている)を精神疾患やひきこもり等の方が介護している状況の方々への支援をしています。行政と相談しながら行っていますが、いろいろな壁にぶつかります。保健所の方ともっと気軽に相談ができるとよいと思います。 ・障害福祉・介護については、(特に)今後も取り組んでいきたいと思います。 ・構成要素ごとの現在確認シートはわかりやすく、今後の取り組み(例)も書かれて、これらの取り組みが明確でよいと思います。コロナ禍でどこまでできるかわかりませんが、できるところから進められると良いと思います。
久里浜医療センター	木村構成員	医療	<ul style="list-style-type: none"> ・措置入院者が退院した後の支援があまり行われていないような印象があるので、効果的な仕組みづくりが必要かと思います ・精神障害者を支えている家族が高齢になったり亡くなったりして本人の生活、治療が困難になることがあります。高齢の家族に向けた支援などがあると良いかと思います。
特定非営利活動法人えがお すまいるEnn	重城構成員	住まい 社会参加 (就労)	<p>病院が居場所にならないよう、住まい、働く場所等地域で暮らしているよう、支援者が連携し、横須賀でできることは何か</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報よこすかに高齢者・障害者の住まい探しを不動産屋が協力してくださるとなっていますが、実際には精神障害と知的障害は除外、障害に対する理解が得られていない。本人が一人でアパートを探すのは難しく、職員のサポートがないと決まらないのが現状です。職員は事前に障害のこと、保証人の要らない物件、理解してくれるオーナーさん等をお願いし、可能な物件を探します。今は横須賀市は行ってくださっていますが、障害を理解してくれるオーナーさん等をお願いし、可能な物件を探します。今も横須賀市は行ってくださっていますが、障害を理解していただけるよう不動産屋・オーナー向けの企画を行ってほしい。 ・生活保護になってしまうと、実際には働ける人も働く意欲をなくしてしまふ人が多く、安易に生活保護になることを勧めず、その前にできることを関係者が協力してかかわっていくようにお願いいたします。
チームブルーよこすか	鈴木構成員	地域の助け 合い・教育 (普及啓発) 住まい 社会参加 (就労) 保健・予防	<ul style="list-style-type: none"> ・横須賀市公認のピアサポーターを育成、認定してほしい。活動の場として、チームブルーのフリースペースを活用していただきたい ・グループホームのマップも作成してほしい ・不動産関係者との連携を進めてほしい。保証人制度など不動産側から家を借りるために必要な知識(関係者向け)の研修を開催していただきたい ・就労援助センター、就労移行支援の活用や連携について周知が必要 ・未受診、受診中断者、ひきこもりに対する保健所の取り組みを関係機関に周知してほしい ・地域移行支援の推進について、医療機関、相談支援事業所、保健所、障害福祉課、包括(高齢福祉課)、地域支援課など、様々な機関との情報共有が必要で、これが包括ケアシステムの構築につながるのではないかと
福井記念病院	高屋構成員	住まい	<p>住居の問題が一番大きいため、グループホームをさらに拡大できるよう取り組んでいただきたい</p>

令和2年度 第1回横須賀市精神保健福祉連絡協議会 回答一覧

とらいむ	田村構成員	地域の助け合い・教育 (普及啓発)	<p>現在、圏域の事業所で養成され、圏域のピアサポート活動(地域移行・地域定着)の他に、フリーで、無償で、個別のピア活動をしています。今後、ぜひ、保健所さんと連携させていただきたいですし、再トレーニングを受けさせていただきたいです。人材育成の際、ご協力できることがあれば、ご協力させていただきたいです。例えば、育成中の方達の前で、お手本として「リカバリーストーリー」を語るとか、今までのピア活動の経験を語る等させていただけるとと思います。</p> <p>フリーで、無償で、個別のピアサポート活動をしています。無償にしているのは、多くのピアさん達が、障害年金や生活保護受給者で、お金に困っているからです。</p> <p>同封の国際ピアサポーター協会の「全国的なピアサポーターのための実践的ガイドライン」でピア活動をどのようにやればいいのか、圏域の要請とは別に独学しました。国際ピアサポーター協会に連絡して、無償のボランティアで使うので、無償で翻訳させて下さいとお願いし、私が訳し、友人の野間さんが上訳して下さいました。私の友人の間で使用するならばいい、と許可されました。(です、この資料は当協議会外には持ち出さないで下さい。お金も発生させないで下さい。)このガイドラインを他のピアサポーターさん達と分かち合うことには賛成です。</p> <p>私がフリーのピア活動でやっていることは、主にピアカウンセリングと傾聴です。</p> <p>横須賀の「精神保健福祉ボランティア養成講座」で、市民として、ボランティアとしてできることは、心の病の方達を私達が専門職の方達や専門機関の方達とつなげること、と学んだので、それも主にしていきます。</p> <p>例えば、精神科受診はしているものの、デイケアや作業所等、どこも福祉施設ともつなげてもらえなかった心の病のピアさんの話をまずお聴きし、自分が以前通っていた横浜の就労継続支援B型事業所の法人さんをお願いして、その方を受け入れてもらいました。</p> <p>受給者証やバス券の申請のために区役所に同行させていただく予定です。ピアさんが完全に専門機関(B型事業所)とつながるまでは、その手続き等はピアサポーターとしてやらなければいけない、と思っています。</p> <p>私は幸運なことに、英語ができますので、日本語が不自由な、海外から来たピアさん達のサポートに特に力を入れています。英語でピアカウンセリングや、傾聴をしています。</p> <p>ピアさんと作業所の所長さんとの面談に、通訳として参加させていただいたり、ピアさんの精神科受診に同席させてもらい、主治医の先生にピアさんは普段はこんなことをおっしゃっている等とお伝えしています。</p> <p>コロナで自粛ムードの際には、ピアさん達が気軽にお話しできる、多くの無料電話相談が時間短縮されたり、相談者さん達が殺到したのか、なかなかつながらなくなりましたので、ピアさん達のお話を電話で聴かせていただいていたいました。</p> <p>けれど、私も心の病の人間ですので、不調の時があり、そのような時は保健所さんや、横須賀の公の無料電話相談さんに助けていただき、回復し、再びピア活動をする、というようなことをしています。助けて下さっている支援者さん達には、本当に感謝です。</p> <p>今後の課題としては、横須賀で活動されている他のピアサポーターの方達と1か月に1回ぐらいお会いして、情報交換や、可能なら連携等させていただきたいです。</p> <p>けれど、私は現在地にピアサポーターさん達がいらっしゃるのか、うっすらとして分ならず、「会を開きましょう」と言い出せない状態です。</p>
		保健・予防 医療	<p>・フリーのピアサポーターとして活動している時に、悩みを抱えた人と多く接することがありますので、草の根活動ではありますが、そういった方達と会う度に、専門機関(保健所さん、市役所さん等)におつなぎしていきたいです。</p> <p>・横浜の瀬谷区生活支援センターさんでは、お昼に、小さなおにぎり2つ、ちょっとしたおかず、お味噌汁を100円で提供しています。コンビニでおにぎり2つ買って付け足せば、男性でも十分なお昼ご飯になるため、普段家から出てこないような、困りごとのある人達もセンターさんを訪れ、食するようです。その際、そういった方達が、お昼ご飯と一緒に食べているスタッフさん達にポツリ、ポツリと悩みごとを打ち明け始め、支援につながるそうです。横須賀でもこのようなシステムがあれば、市内にいる、通院困難、未治療、治療中断などの方達を支援や、医療につなげたり、継続的に関わることが出来るのではないかと思います。</p>

令和2年度 第1回横須賀市精神保健福祉連絡協議会 回答一覧

とらいむ	田村構成員	障害福祉・介護	<p>ある病院の作業療法士さんに、「精神科デイケアの目的の1つは、当事者さんにデイケアに来てもらう事によって、当事者さんが1日のうち数時間家の外に出て、当事者さんのお世話で疲弊しているご家族の負担を少しでも減らすことである」と伺いました。</p> <p>8050問題の当事者さんである、精神障害者さん達、ひきこもりさん達は、地域活動支援センター、デイケア、作業所等では敷居が高くて行けない人達もいるかもしれません。</p> <p>そういった方達も手続きなしで、気軽に、気が向いた時に、ふらりといける場所が横須賀には少なくとも2つあります。</p> <p>「対話屋」(横須賀市立総合福祉会館よこすかボランティアセンター(4F)2021年2月と3月第2日曜日18時～21時(第2活動室)、2021年4月から第2日曜日14時～17時(第5活動室)) (好きなことをオシャレりするところ。入退室自由。)(よこすかボランティアセンター046+821-1303)</p> <p>「いとはん」(横須賀市立総合福祉会館よこすかボランティアセンター(4F)第1水曜日、第3木曜日14時～17時(第5活動室) (好きなことをオシャレしながら軽作業をする。入退室自由。)</p> <p>家にひきこもりがちな精神障害者さん達も、ひきこもりさん達も、このようなゆったりとした(プログラムや作業がなく、敷居も低い)居場所に月に数回行ってもらえば、お世話をしている親御さんたちも少しは負担を感じない日ができて良いのではないのでしょうか？</p> <p>加えて、横浜のあるケアプラザさんでは、区役所さんの「生活困窮者自立支援課」さんと連携して、8050問題の精神障害者さん達、ひきこもりさん達、生活保護受給者の人達、障害年金受給者の人達を集めて、いずれ自炊ができるように、自炊講座をしているそうです。</p> <p>1人あたり、炊飯器1つ、お鍋1つ任されて、ご飯の炊き方、お味噌汁や簡単なおかずの作り方等をおしえてもらっています。</p> <p>8050問題の当事者さんにとっては、いずれやってくる「親亡き後」に備えられると思います。</p> <p>また、生活保護を受けている男性は、料理が出来ない方達が多く、3食外食に頼ってしまうため、すぐに生活保護の費用がなくなってしまう方達もいるそうです。自炊をしている生活保護受給者の方達は、金銭的に余裕をもって、暮らしているようです。</p> <p>ですので、自炊講座も横須賀でやっていただきたいです。多くの生活困窮者を救うことが出来ると思います。</p> <p>以前、横浜の高齢者や障害者の訪問介護をしている有限会社さんに呼ばれて、精神疾患当事者としてのリカバリーストーリーと、体験談を、訪問介護のヘルパーさん達の前で語らせていただきました。</p> <p>私が語る前に、臨床心理士さんが呼ばれていて、約1時間程度ヘルパーさん達に、おおまかな精神病について(統合失調症、双極性障害等)説明されていました。</p> <p>この2つのイベントで、参加されたヘルパーさん達は、精神疾患のある高齢者、精神疾患のある方達に対する理解を深めてもらったのではないかと思います。横須賀でもこのようなことをしていただきたいです。</p>
議事5 その他			
NPO法人横須賀つばさの会	下江構成員		横須賀市の医療費助成を三障害を同等にしていない。現在、「精神障害医療費助成」について、身体、知的障害者に助成されていない。一年前に、神奈川県議会で「精神障害者医療費についての請願」で満場一致で採択されました。市も1級の入院、2級の通院と入院への助成を三障害を同等とする。別紙、神奈川県内の重度障害者医療費助成の実施状況
一般社団法人神奈川県精神保健福祉協会	柏構成員		<ul style="list-style-type: none"> 整理されてきた各項目(課題)を具体的に解決していくにはどうしたらよいかを考えてみてはどうか コロナ禍で集まるのが難しいと思われそうですが、書面の良さを生かして意見・提案を出し合ってみてはどうでしょう
本庁第一地域包括支援センター	柏木構成員		まだまだ勉強不足ではありますが、よろしくお願ひいたします。
久里浜医療センター	木村構成員		もし可能なら、オンライン会議でもよいのではないのでしょうか。

令和2年度 第1回横須賀市精神保健福祉連絡協議会 回答一覧

とらいむ	田村構成員	
		<p>精神障害当事者の目線で書かせていただくと、横浜の生活支援センターは素晴らしいので。横須賀にも作って欲しいです。(経済的な問題はありますが・・・) <お風呂が素晴らしい> 以前、横須賀の地域活動支援センターさんで(シャワーはありました)、1カ月に数回しかお風呂に入らず、スタッフさんに注意されていた精神障害の方がいらっしゃいましたが、その方もシャワーでなく、お風呂があったら入ったかもしれないと思いました。シャワーには抵抗があるという日本の方達は多いのではないかと思います。 横浜市中区生活支援センターさんによると、センターさんのお風呂を利用者さん達はとても気に入っているとのことでした。お風呂から歌声が聞こえてきたり、ラジオをお風呂に持ち込んでお風呂を楽しまれたり、入浴剤を入れていい香りをさせてお風呂を楽しまれたりされている方もいるようです。 私もそうですが、心の病にかかると、お風呂に入るのがおっくうになる方達が多くいらっしゃると思います。でも、一度家の外に出て、福祉施設に行けば、お風呂に入る気持ちになるという方達もいらっしゃると思います。それが、シャワーでなく、お風呂だったらなおさらのことだと思います。</p>
		<p><寝る場所とお布団があることが素晴らしい> 地域活動支援センターは、気軽に行けるため、退院後、デイケアや作業所等につながれなかった方達が、居場所として行く所ではないかと思えます。 地域活動支援センターは、居場所として利用させていただく他、そこではまず昼夜逆転を治されたり、月・水・金は必ず通う等体調を整えたり、体力をつけるために活用される方達もいらっしゃるかもしれません。 そのような練習中、とても眠くなることはよくある事で、眠れる場所があると、地域活動支援センターも通いやすく、練習も続けられていいのではないかと思います。 お布団のある部屋がある事は、素晴らしいと思います。</p> <p><長期休暇もやっている事が素晴らしい> 私も心の病の人間なので、以前は、お正月休み、ゴールデンウィーク、お盆休み、シルバーウィーク等長い休みに入ると、多くの福祉施設や、病院が閉まってしまうため、不安になり、長期休暇は必ずと言っていいほど精神的に具合が悪くなっていました。 横浜市鶴見区精神障害者地域支援センターさんは、お休みは日曜と年末年始(12月29日～1月3日)のみで、長期休暇はどれも閉まってしまうので、あえて開けているそうです。 普段、デイケアや作業所に通っていて、長期休暇に入って精神的に具合が悪くなりそうだったら、センターさんに通えばよく、とてもありがたい事だと思います。 ちなみに、このセンターさんはさらに素晴らしい事に障害者雇用をして下さっていて、2人の心の病の方達を雇って下さっています。</p>
		<p><大量で、安く、栄養のよく考えられた夕食提供をされている事が素晴らしい> 横浜市のある生活支援センターさんでは、夕食提供を行っていて、大量で、安く(500円以下)、栄養のよく考えられた夕食が提供されているそうです。 料理が出来ない、あるいは、お金がないため朝食・昼食が食べられない人も、センターさんで夕食1回食べればなんとかなるそうです。おかずが大量にあり、栄養もよく考えられているので。 また、家に引きこもりがちで、心の病の方達も、ご両親がなくなり地域で一人暮らしをしているひきこもりがちで、孤独な心の病の方達も、このセンターさんの夕食のために、1日1回は無理にでも外出することになり、1日1回は誰かと話すことになるので、孤立・孤独になることを防ぐことが出来ると思います。 横浜市鶴見区生活支援センターさんは、月曜日から金曜日まで毎日夕食を提供して下さっています。以前私が通っていた横須賀の地域活動支援センターさんは、このようなわけではなかったのですが、当事者としては、とてもありがたいシステムだと思います。 また、ある生活支援センターさんでは、当事者の方達が夕食のためにセンターさんを訪れても、必ず相談員さん達がいらっしゃるそうで、悩みごとの相談ができ、支援にもつながることができるそうです。</p>

神奈川県内の重度障害者医療費助成の実施状況

2019.4.1現在

自治体名	身体			知的			複合 (身 3+ 知B 1)	精神		年齢 制限	所得 制限	制度 名	備考 精神障害者適用開始年月等 (ただし年齢・所得制限は後に付加もあり) <精神障害の等級欄> ○は通院+入院、●は「通院のみ」、助成対象
	1級	2級	3級	A1 (GQ20 以下)	A2 (21~ 35)	B1 (36~ 50)		1級	2級				
県(助成対象)	○	○		○	○		○	●		○	○	重	2012.4~*精神は通院のみ *精神・入院支援金 (月額10,000円)
横浜市	○	○		○	○		○	●				重	2013.10~*精神は通院のみ *精神・入院支援金
川崎市	○	○		○	○		○	●				重	2013.10~*精神は通院のみ *精神・入院支援金
相模原市	○	○		○	○		○	○	○			重	2004.10~ *入院支援金より優先
横須賀市	○	○		○	○		○	●		○		重	2013.10~ *精神は通院のみ
平塚市	○	○	○	○	○		*4+ B 1	○				重	2009.1~
鎌倉市	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	障	1983~ *身体4級の一部にも適用 年齢制限2013.10~、所得制限2015.12~
藤沢市	○	○	○	○	○	○	○	○	○			障	2002.10~
小田原市	○	○		○	○			●				重	2013.1~ *精神は通院のみ
茅ヶ崎市	○	○		○	○		○	○				重	2002.10~
逗子市	○	○		○	○		○	●		○		重	2012.10~ *精神は通院のみ
三浦市	○	○		○	○		○	●		○		重	2014.10~ *精神は通院のみ
秦野市	○	○		○	○		○	○		○	○	重	2012.4~
厚木市	○	○	○	○	○	○		○		○	○	心	2009.10~
大和市	○	○		○	○		○	●		○	○	心	2013.1~ *精神は通院のみ
伊勢原市	○	○		○	○		○	●		○	○	心	2012.4~ *精神は通院のみ
海老名市	○	○	○	○	○	○		○	○	○		障	2003.4~
座間市	○	○	○	○	○	○		○		○		心	身体3級及び知的B1、B2は1割負担、精神1級 2012.10~他に精神2級・精神科通院も対象
南足柄市	○	○		○	○		○	●		○		重	2013.10~ *精神は通院のみ
綾瀬市	○	○		○	○			○		○		重	2011.7~
葉山町	○	○		○	○		○	○		○		心	2007.10~
寒川町	○	○	○	○	○	○		○		○	○	重	2008.10~ 身体3級は一部
大磯町	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	障	2009.1~ 他に身体4級も対象
二宮町	○	○	○	○	○	○		○	○	○		障	2009.10~ 他に身体4級も対象
愛川町	○	○	○	○	○	○	*4+ B2	●		○	○	障	2013.10~ *精神は通院のみ
清川村	○	○	○	○	○	○		○				重	2018.4~

その他は省略